

笥克彦博士略年譜・著作目録（二十六訂稿）

（令和 4（2022）年 7 月 7 日（木）現在）

〔目 次〕

（補正経緯）	2
【参考 HP】	4
【関係 HP】	6
はじめに	7
1 略年譜	7
2 著作目録	9
(1) 単行書、編書	9
(2) 論説	10
ア 国家学会雑誌	10
イ 法学協会雑誌	11
ウ その他	14
3 試験問題	14
4 笥克彦博士関連文献	15

(補正経緯)

- HP 初出:
- ・平成 24 (2012) 年 2 月 10 日 (金) 初稿作成
 - ・平成 24 (2012) 年 2 月 14 日 (火) 改訂稿作成
 - ・平成 24 (2012) 年 6 月 6 日 (水) 再訂稿作成
(一部追加、補正)
 - ・平成 25 (2013) 年 4 月 15 日 (月) 三訂稿作成
(一部追加、補正)
 - ・平成 25 (2013) 年 4 月 22 日 (月) 四訂稿作成
(一部追加、補正)
 - ・平成 25 (2013) 年 4 月 25 日 (木) 五訂稿作成
(一部追加、補正)
 - ・平成 26 (2014) 年 5 月 27 日 (火) 六訂稿作成
(一部追加、補正)
 - ・平成 27 (2015) 年 1 月 31 日 (土) 七訂稿作成
(一部追加、補正)
 - ・平成 27 (2015) 年 2 月 3 日 (火) 八訂稿作成
(一部追加、補正)
 - ・平成 27 (2015) 年 3 月 12 日 (木) 九訂稿作成
(一部追加、補正)
 - ・平成 27 (2015) 年 4 月 21 日 (火) 十訂稿作成
(一部追加、補正)
 - ・平成 27 (2015) 年 7 月 15 日 (水) 十一訂稿作成
(一部追加、補正)
 - ・平成 28 (2016) 年 2 月 5 日 (金) 十二訂稿作成
(一部追加、補正)
 - ・平成 28 (2016) 年 10 月 9 日 (日) 十三訂稿作成
(西田彰一氏関係文献を追加、一部補正)
 - ・平成 28 (2016) 年 11 月 17 日 (木) 十四訂稿作成
(小田部雄次氏関係文献を追加、一部補正)
 - ・平成 29 (2017) 年 12 月 14 日 (木) 十五訂稿作成
(山田晟氏関係文献、増田福太郎氏の件
等を追加、一部補正)
 - ・平成 30 (2018) 年 5 月 11 日 (金) 十六訂稿作成
(森元拓氏、五味良彬氏関係文献を追加)
 - ・平成 30 (2018) 年 7 月 12 日 (木) 十七訂稿作成
(国家学会雑誌掲載文献を追加、法学協会
雑誌掲載文献を差替、「3 寛克彦博士関連文献」を
一部追加)

- ・平成 31（2019）年 2 月 21 日（木）十八訂稿作成
（今野元氏関係文献その他を追加）
- ・令和元（2019）年 6 月 12 日（水）十九訂稿作成
（冒頭レイアウト変更、「4 試験問題」を新設、「5 寛克彦博士関連文献」を一部追加）
- ・令和元（2019）年 6 月 24 日（月）二十訂稿作成
（「5 寛克彦博士関連文献」等を一部追加）
- ・令和 2（2020）年 3 月 19 日（木）二十一訂稿作成
（「5 寛克彦博士関連文献」等を一部追加）
- ・令和 2（2020）年 4 月 15 日（水）二十二訂稿作成
（全体にわたり微修正）
- ・令和 2（2020）年 6 月 30 日（火）二十三訂稿作成
（高柳賢三教授の寛博士回想記（昭和 13 年）、【参考 HP】を追加するとともに、全体にわたり微修正）
- ・令和 3（2021）年 11 月 13 日（土）二十四訂稿作成
（レイアウト全面変更し、一部補正した。）
- ・令和 4（2022）年 4 月 1 日（金）二十五訂稿作成
（一部補正し、『CD 版 宮崎道三郎博士・小林宏先生・西村稔先生・高橋由利子先生略年譜・著作目録【参考篇】【附篇】一ローマ法・法制史学者著作目録選一』（令和 4（2022）年 4 月 1 日刊）に収録した。）
- ・令和 4（2022）年 7 月 7 日（木）二十六訂稿作成
（一部補正した。）

【参考 HP】（令和 2（2020）年 6 月 30 日新設、令和 3 年 11 月 13 日全面差替、同年 12 月 30 日、令和 4 年 7 月 7 日各一部修正）

* 法制史学会 HP（平成 14（2002）年 10 月 5 日公開、平成 24（2012）年 4 月 1 日移転）

〈<http://www.soc.nii.ac.jp/jalha/toppage.htm>〉 ⇒

（新） 〈<https://www.jalha.org/>〉

・ 〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%8A%E5%B1%B1%E5%AE%89%E6%95%8F>〉

* 全体 HP

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/>〉

・ 「日本のローマ法」

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Romanist2003.htm>〉

・ 「法制史学者著作目録選（WEB 版）」

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉

・ 本 HP 別稿：宮崎道三郎博士略年譜・著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/miyazaki001.pdf>〉

・ 本 HP 本稿：池辺義象氏著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ikebe001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：中田薫博士関係資料抄

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakata001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：内藤吉之助教授略年譜・著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/naito001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：金田平一郎博士略年譜・著作目録

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kaneda001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：小早川欣吾先生略年譜・著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayakawa001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：「小早川欣吾先生記念メダルによせて

—小田輝子氏「叔父小早川欣吾の思い出」とともに—」

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/odateruko.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：『小早川欣吾先生東洋法制史論集』収録論稿目次その他」

〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayakawa_toyohoseishi.pdf〉

・ 本 HP 別稿：牧英正博士著作目録等抄

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/maki001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：小林宏先生著作目録等抄

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashi001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：千賀鶴太郎博士著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/senga001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：戸水寛人博士著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tomizu001.pdf>〉

- ・本HP別稿：春木一郎博士略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/haruki001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/haruki001.pdf)
- ・本HP別稿：原田慶吉教授略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/harada2003.htm〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/harada2003.htm)
- ・本HP別稿：船田享二博士略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/funada2003b.htm〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/funada2003b.htm)
- ・本HP本稿：田中周友博士略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanaka2003b.htm〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanaka2003b.htm)
- ・本HP別稿：栗生武夫先生略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu001.pdf)
- ・本 HP 別稿：「栗生武夫先生『婚姻法の近代化』の中訳本について」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_chuhon.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_chuhon.pdf)
- ・本 HP 別稿：「『栗生武夫先生随筆拾遺』作成の思い出
 —『栗生武夫先生随筆拾遺—栗生武夫先生単行本未収録論稿集第一輯—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_zuihitsu_shui.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_zuihitsu_shui.pdf)
- ・本HP別稿：「PDF版『栗生武夫先生随筆拾遺—栗生武夫先生単行本未収録論稿集第一輯—』」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_zuihitsu_shui_002.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_zuihitsu_shui_002.pdf)
- ・本HP別稿：西本頼博士著作目録等抄
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nishimoto001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nishimoto001.pdf)
- ・本HP別稿：久保正幡博士著作目録等抄
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kubo001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kubo001.pdf)
- ・本HP別稿：井上周三教授関係資料抄
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/inoue001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/inoue001.pdf)
- ・本HP別稿：上山安敏先生著作目録等抄
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueyama001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueyama001.pdf)
- ・本HP本別稿：筧克彦博士略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kakei001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kakei001.pdf)
- ・本HP別稿：近藤英吉博士略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kakei001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kakei001.pdf)
- ・本HP別稿：山崎丹照先生著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yamazaki001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yamazaki001.pdf)
- ・本HP別稿：戴炎輝博士略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Tai_Yen-hui001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Tai_Yen-hui001.pdf)

* 和田徹氏HP「私立玉川用賀村中央図書館（新館）」

[〈http://home.q02.itscom.net/tosyokan/〉](http://home.q02.itscom.net/tosyokan/)

・春木一郎電子文庫（和田徹氏寄贈図書）

[〈http://home.q02.itscom.net/tosyokan/haruki.htm〉](http://home.q02.itscom.net/tosyokan/haruki.htm)

・原田慶吉電子文庫（和田徹氏寄贈図書）
〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/harada.htm>〉

・栗生武夫電子文庫（和田徹氏寄贈図書）
〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/kuryu.htm>〉

・いろいろ電子文庫
〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/iroiro.htm>〉

・PD 図書室（「梅雨空文庫」のデータを整理してまとめたもの）
〈<http://books.salterrae.net/about/tuyuzora.html>〉

（註）早くには「船田享二電子文庫」の平成22（2010）年開設予告もなされていた（平成14（2002）年12月14日初出か？）が、その後平成18（2006）年6月3日に「2006/06/03 船田享二電子文庫計画中止」の表示が出た。

＊「西村稔先生（1947～2019）年譜・著作目録（阪本尚文編）（初版）（2020（令和2）年4月現在）」⇒爾後逐次改訂⇒（最新版：令和4（2022）年5月現在第7稿掲載）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nishimura001.pdf>〉

（註）本著作目録は、阪本尚文編『Aún aprendo それでもまだ学ぶぞ——西村稔先生追悼集』（私家版、2020（令和2）年2月28日刊。福島大学学術機関情報リポジトリ所収〈<http://hdl.handle.net/10270/5154>〉）に収録した「西村稔先生年譜・著作目録」に逐次修正を加えつつあるものである。

【関係 HP】（令和4年7月7日一部修正）

・法制史学会：〈<https://www.jalha.org/>〉

・国立国会図書館：〈<https://www.ndl.go.jp/>〉

・国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉

・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和4（2022）年5月19日開始）

〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html〉

・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー（令和4（2022）年4月1日追加）

〈<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>〉

・CiNii: 〈<https://ci.nii.ac.jp/>〉⇒〈<https://cir.nii.ac.jp/>〉（【[2022] 4/18 更新】CiNii Articles の CiNii Research への統合について）、〈<https://ci.nii.ac.jp/books/>〉

はじめに

先学のお勧めもあり、「寛克彦博士略年譜・著作目録」を作成することとする。但し諸般の事情より逐次改訂増補の予定でいる。(平成 24 (2012) 年 2 月 10 日)

1 略年譜

(使用資料)

- ・『大日本博士録 (1888-1920) 第 1 巻〈全六巻之内〉法学博士及薬学博士之部』
(発展社、大正 10 年 1 月 11 日刊。英文有。) 76、77 頁(「国立国会図書館デジタルコレクション」〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/946116>〉142 コマに収録。)(平成 31 年 2 月 21 日 URL 追加)
- ・学位大系博士氏名録編集部編纂『学位大系博士氏名録 昭和 7 年版』(発展社出版部、昭和 6 年 10 月 25 日刊)(法学博士) 3 頁(「近代デジタルライブラリー」所収本 21 コマ〈<http://kindai.ndl.go.jp/>〉)(平成 24 年 2 月 14 日追加)
- ・『帝国大学出身名鑑』(校友調査会、昭和 7 年 12 月 10 日刊) カ 29 頁
- ・〈<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%AD%A7%E5%85%8B%E5%BD%A6>〉
- ・『人事興信録 第十三版 上』(人事興信所、昭和 16 年 10 月 1 日刊) カ 57 頁
(「近代デジタルライブラリー」所収本 486 コマ)(平成 24 年 2 月 14 日追加)
- ・寛泰彦 (1908～2000)「父寛克彦のことども」『学士会会報』第 690 号(昭和 41 年 2 月 21 コマ 10 日刊)(平成 25 年 4 月 21 日追加)
- ・国立公文書館デジタルアーカイブ (11 件)(平成 24 年 2 月 14 日追加)
〈<http://www.digital.archives.go.jp/DAS/meta/default>〉
- ・聞蔵Ⅱ (令和元年 5 月 25 日追加)
〈<https://database.asahi.com/index.shtml>〉
- ・ヨミダス歴史館 (令和元年 5 月 25 日追加)
〈<https://database.yomiuri.co.jp/rekishikan/>〉
- ・「日本研究のための歴史情報」〈<http://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/>〉(名古屋大学)
⇒「人事興信録データベース」(令和 2 年 6 月 30 日追加)
〈<http://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/who/docs/who4-4526>〉(第 4 版(大正 4 年 1 月刊))
〈<http://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/who/docs/who8-5869>〉(第 8 版(昭和 3 年 7 月刊))
- ・『東京大学百年史 部局史 1』(東京大学、昭和 61 年 3 月 1 日刊) 21 コマ(令和 2 年 6 月 30 日追加)
〈https://www.u-tokyo.ac.jp/focus/ja/articles/z1901_00030.html〉
〈https://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_snippet&index_id=8329&pn=1&count=20&order=17&lang=japanese&page_id=28&block_id=31〉

明治 5 (1872) 年 11 月 28 日生まれ¹ (長野県)
明治 18 (1885) 年? 月? 日 東京府中学校入学 (平成 25 年 4 月 22 日追加)
明治 22 (1889) 年 7 月? 日 東京府尋常中学校卒業 (平成 25 年 4 月 22 日一部補正)
同 年 9? 月? 日 第一高等中学校入学 (入学時工科、2 年で法科?に転科) (平成 25 年 4 月 22 日追加)
明治 27 (1894) 年 7 月? 日 第一高等中学校 (政治科) 卒業 (平成 25 年 4 月 22 日、令和元年 6 月 12 日各一部補正)
同 年 9? 月? 日 帝国大学法科大学入学
明治 30 (1897) 年 7 月? 日 帝国大学法科大学 (英法科) 卒業、法学士
同 年 9 月? 日 帝国大学大学院に入学
同 年 10 月? 日 文官高等試験に合格
明治 31 (1898) 年 6 月? 日 文部省より行政法研究のため独逸国へ出張を命ぜられる
同 年 11 月? 日 出発
明治 33 (1900) 年 6 月 14 日 (留学中) 任東京帝国大学法科大学助教授
明治 36 (1903) 年 8 月? 日 帰朝
同 年 8 月 27 日 任東京帝国大学法科大学教授、行政法第二講座及び法理学講座担任
明治 37 (1904) 年 8 月 3 日 法学博士の学位を受く (東大総長推薦)
明治 38 (1905) 年 6 月 以降文官高等試験臨時試験委員
大正元 (1912) 年 11 月 13 日 陞叙高等官二等
大正 8 (1919) 年 4 月 官制改革、東京帝国大学法学部と改称、(行政法第二講座担任、法理学講座兼担、政治学講座分担)
爾来大学教授の側ら明治大学、國學院大學、海軍大学校の嘱を受け出講す
大正 9 (1920) 年 6 月 7 日 政治学講座分担被免
同 年 9 月 陞叙高等官一等

昭和 6 (1931) 年? 月? 日 再び欧米出張
昭和 8 (1933) 年 3 月 退官 (平成 24 年 2 月 14 日追加)
昭和 8 (1933) 年 6 月 東京帝国大学名誉教授 (平成 24 年 2 月 14 日追加)
昭和 19 (1944) 年? 月 満洲国に渡る (平成 25 年 4 月 22 日追加)

昭和 36 (1961) 年 2 月 17 日 逝去
昭和 36 (1961) 年 2 月 27 日 勲一等旭日大綬章受章 (平成 24 年 3 月 23 日追加)

¹「この 11 月 28 日という日は旧暦の月日であり、翌々日から太陽暦に改暦され、その日が明治 6 年 1 月 1 日となりました。それで、11 月 28 日は太陽暦の 12 月 30 日ということになります。」(上記寛泰彦「父寛克彦のことども」37 頁による。平成 25 年 4 月 22 日追加)
ただし、旧暦明治 5 年 11 月 28 日は 1872 年 12 月 28 日となると思われる。ちなみに、改暦は明治 5 年 11 月 9 日 (1872 年 12 月 9 日) に布告され、翌月に実施された。すなわち、旧暦明治 5 年 11 月 28 日 = 1872 年 12 月 28 日、旧暦明治 5 年 11 月 29 日 = 1872 年 12 月 29 日、旧暦明治 5 年 12 月 1 日 = 1872 年 12 月 30 日、旧暦明治 5 年 12 月 2 日 = 1872 年 12 月 31 日、(旧暦明治 5 年 12 月 3 日 =) 新暦明治 6 年 1 月 1 日 = 1873 年 1 月 1 日となる。

(<http://www.sci-museum.jp/publish/text/koyomi/94.html>) (平成 25 年 4 月 25 日一部補正)

〈http://www.geocities.jp/nakanolib/giten/kyoku3_2.htm〉

(肖像)

- ・『寛教授還暦祝賀論文集』(有斐閣、昭和9年4月17日刊)(編輯者: 杉村章三郎: 1900～1991、巻頭に山田準次郎氏(1883～1968)に依る「油絵の復写」あり。)(平成24年2月14日追加)

- ・HP「加藤完治記念館を訪ねて」中に「寛克彦博士」の御写真あり。(平成24年2月14日追加)(⇒平成30(2018)年7月12日現在ではHPは削除か。)

〈<http://www.ypapaengpc.com/clients/katoukanji/gakureki.html>〉

- ・社会政策学会 HP 〈<http://jasps.org/>〉 ⇒社会政策学会「学界概要」⇒「史料館(過去の記録収蔵)」⇒「戦前期大会記念写真」中第1回、第2回の集合写真中にあり。(平成27年1月31日追加)

- ・寛克彦 憲法学者(平成27年1月31日追加)

〈<http://amanaimages.com/info/infoRM.aspx?SearchKey=23007004223&GroupCD=0&no=>〉

2 著作目録

(1) 単行書、編書

(作成中)

(参考サイトその他)(平成24年2月14日、令和元年6月12日、令和4年7月7日各各一部修正)

(以下削除予定なれど当面残存)

- ・国立国会図書館「資料の検索」

- ・国立国会図書館サーチ: 〈<http://www.ndl.go.jp/>〉

- ・NDL-OPAC(蔵書検索・申込): 〈<http://www.ndl.go.jp/>〉

- ・国立国会図書館「電子図書館」

- ・近代デジタルライブラリー 〈<http://kindai.ndl.go.jp/>〉(10件)

- 平成28年7月21日近代デジタルライブラリーを終了し国立国会図書館デジタルコレクション 〈<http://dl.ndl.go.jp/>〉と統合とのこと(平成28年2月5日追加)

- 〈http://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2015/1211371_1830.html〉

- ・デジタル化資料(貴重書等) →「国会図書館のデジタル化資料」 →「館内限定公開資料を含める」をクリック →「寛克彦」を入力して検索(58件、ただし一部は「寛克彦博士」のものではない。)
〈<http://dl.ndl.go.jp/#classic>〉

- ・NACSIS Webeat: 〈<http://ci.nii.ac.jp/books/>〉 (平成25(2013)年3月8日(金))

—でサービス終了との由)—→後掲サービス→下記 CiNiiへ

・CiNii (NII 論文情報ナビゲータ[サイニィ]) <~~<http://ci.nii.ac.jp/books/>~~>

・国立国会図書館: <<https://www.ndl.go.jp/>>

・国立国会図書館デジタルコレクション <<https://dl.ndl.go.jp/>>

・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス (個人送信) (令和 4 (2022) 年 5 月 19 日開始)

<https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html>

・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー (令和 4 (2022) 年 4 月 1 日追加)

<<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>>

・CiNii: <<https://ci.nii.ac.jp/>> ⇒ <<https://cir.nii.ac.jp/>> (【[2022] 4/18 更新】CiNii Articles の CiNii Research への統合について)、<<https://ci.nii.ac.jp/books/>>

・「筧克彦関連文献」: <http://www.asia2020.jp/japan/kakei_b.htm>

・ざっさくプラス (雑誌記事索引集成データベース) (令和元年 6 月 12 日追加)

<https://zassaku-plus.com/service/login?return_url=http%3A%2F%2Fzassaku-plus.com%2F>

・『東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧』(大空社刊) 各巻

<<https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN09089530>> (令和元年 6 月 12 日追加)

(筧克彦博士著作一覧)

(『古神道大義』(筧克彦博士著作刊行会、昭和 33 年 7 月 15 日刊) 394~395 頁所載「筧克彦博士著作一覧」)(内藤丈二先生の御教示に拠る。)

・仏教哲理 (菊判 858 頁、明治 44 年、有斐閣)

(以下省略)

・大正の皇后宮御歌謹釈 (筧克彦博士著作刊行会、昭和 36 年 7 月刊。後掲原武 (1962~)

『皇后考』<講談社、平成 27 年 2 月 4 日刊> 参照。) (平成 27 年 4 月 21 日追加)

(参考)

・筧克彦氏講述皇国憲法 (完) : 東京帝国大学昭和八年度 <マ> 最終講義 (赤門堂書店、昭和 10 年 5 月 15 日刊) (令和元年 6 月 24 日追加)

<<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1271801>>

(2) 論説

ア 国家学会雑誌 (平成 30 年 7 月 12 日追加)

1 げーてノ戯曲ヨリ国家ヲ論ズ (上) 国家学会雑誌 18 巻 (通号 211 号) 28-47 ページ
[1904/9/20] 講演

2 げーてノ戯曲ヨリ国家ヲ論ズ (下) 国家学会雑誌 18 巻 (通号 212 号) 1-26 ページ
[1904/10/20] 講演

3 学者ノ国家ニ於ケル地位ヲ論ズ 国家学会雑誌 19 巻 10 号 (通号 224 号) 71-90 ページ

[1905/10/1] 論説

4 学者ノ国家ニ於ケル地位ヲ論ズ（承前） 国家学会雑誌 19 卷 11 号（通号 225 号）72－116 ページ [1905/11/1] 論説

5 人格者概論（其一） 国家学会雑誌 25 卷 4 号（通号 290 号）513－540 ページ [1911/4/1] 論説

6 人格者概論（其二） 国家学会雑誌 25 卷 7 号（通号 293 号）1037－1046 ページ [1911/7/1] 論説

7 法理学第一卷仏教哲理 国家学会雑誌 25 卷 8 号（通号 294 号）1240－1242 ページ [1911/8/1] 論説

8 羅馬人ノ思想ヲ論ズ（其一） 国家学会雑誌 26 卷 5 号（通号 303 号）645－670 ページ [1912/5/1] 論説

9 羅馬人ノ思想ヲ論ズ（其二） 国家学会雑誌 26 卷 6 号（通号 304 号）867－891 ページ [1912/6/1] 論説

10 羅馬人ノ思想ヲ論ス（其三） 国家学会雑誌 26 卷 7 号（通号 305 号）1047－1063 ページ [1912/7/1] 論説

11 広義ノ公有物及租税ノ本質（上） 国家学会雑誌 32 卷 2 号（通号 372 号）165－184 ページ [1918/2/1] 論説

12 広義ノ公有物及租税ノ本質（下） 国家学会雑誌 32 卷 3 号（通号 373 号）378－390 ページ [1918/3/1] 論説

13 社会の真面目（一） 国家学会雑誌 34 卷 1 号（通号 395 号）23－59 ページ [1920/1/1] 論説

14 社会の真面目（二） 国家学会雑誌 34 卷 2 号（通号 396 号）178－196 ページ [1920/2/1] 論説

15 社会の真面目（三） 国家学会雑誌 34 卷 3 号（通号 397 号）300－350 ページ [1920/3/1] 論説

16 財物及公有権（一） 国家学会雑誌 34 卷 8 号（通号 402 号）936－967 ページ [1920/8/1] 論説

17 財物及公有権（二） 国家学会雑誌 34 卷 10 号（通号 404 号）1226－1256 ページ [1920/10/1] 論説

18 神ながらの道より観たる承久の役 国家学会雑誌 42 卷 10 号（通号 500 号）1594－1621 ページ [1928/10/1] その他

イ 法学協会雑誌（平成 30 年 7 月 12 日既載分〈【参考】として下部に残置〉を差替え）

1 情ヲ知リテ偽造貨幣ヲ窃取シ之ヲ以テ物ヲ買ヒタル者ノ処分如何 法学協会雑誌 15 卷 2 号 91－122 頁 [1897/2/1] 講演：執筆者等：柴田駒三郎，有吉忠一，松室致，中山成太郎，豊島直道，岡田朝太郎，勝本勘三郎，笥克彦

2 法ノ本質ヲ論ズ 法学協会雑誌 22 卷 3 号 323－338 頁 [1904/2/1] 論説

3 法ノ本質ヲ論ズ（承前） 法学協会雑誌 22 卷 4 号 533－554 頁 [1904/4/1] 論説

- 4 法ノ本質ヲ論ズ（承前） 法学協会雑誌 22 卷 6 号 792－821 頁 [1904/6/1] 論説
- 5 最近に於ける「ギルケー」氏の団体本質論 法学協会雑誌 23 卷 2 号 225－244 頁 [1905/2/1] 翻訳：執筆者等：寛克彦，松山得四郎
- 6 最近に於ける「ギルケー」氏の団体本質論（承前） 法学協会雑誌 23 卷 3 号 397－412 頁 [1905/3/1] 翻訳：執筆者等：寛克彦，松山得四郎
- 7 団体本質論 法学協会雑誌 23 卷 4 号 463－489 頁 [1905/4/1] 論説
- 8 団体本質論（承前） 法学協会雑誌 23 卷 5 号 669－676 頁 [1905/5/1] 論説
- 9 団体本質論（承前接五号） 法学協会雑誌 23 卷 7 号 932－943 頁 [1905/7/1] 論説
- 10 団体本質論（承前） 法学協会雑誌 23 卷 8 号 1122－1142 頁 [1905/8/1] 論説
- 11 謡曲「放下僧」ヨリ法ノ基礎觀念ヲ論ス 法学協会雑誌 24 卷 5 号 613－673 頁 [1906/5/1] 論説
- 12 機関人格概論 法学協会雑誌 24 卷 6 号 740－785 頁 [1906/6/1] 論説
- 13 機関人格概論 二 （第六号ニ接続） 法学協会雑誌 24 卷 8 号 1083－1130 頁 [1906/8/1] 論説
- 14 機関人格概論三（第二十四卷第六号ニ接続ス） 法学協会雑誌 26 卷 2 号 117－166 頁 [1908/2/1] 論説
- 15 法学者トシテ太古ノ思潮ヲ論ズ 法学協会雑誌 27 卷 12 号 1874－1900 頁 [1909/12/1] 論説
- 16 印度ニ於ケル仏教思潮ヲ論ズ（其一） 法学協会雑誌 28 卷 1 号 44－74 頁 [1910/1/1] 論説
- 17 印度ニ於ケル仏教思潮ヲ論ズ（其二） 法学協会雑誌 28 卷 2 号 233－297 頁 [1910/2/1] 論説
- 18 印度ニ於ケル仏教思潮ヲ論ス其三 法学協会雑誌 28 卷 4 号 615－660 頁 [1910/4/1] 論説
- 19 印度ニ於ケル仏教思潮ヲ論ズ其四（承前第四号） 法学協会雑誌 28 卷 7 号 1270－1294 頁 [1910/7/1] 論説
- 20 印度ニ於ケル仏教思潮ヲ論ズ其五（完結） 法学協会雑誌 28 卷 8 号 1435－1463 頁 [1910/8/1] 論説
- 21 プラトーンノ哲理及ヒ国家論 法学協会雑誌 30 卷 1 号 46－76 頁 [1912/1/1] 論説
- 22 プラトーンノ哲理及ヒ国家論（承前、完） 法学協会雑誌 30 卷 2 号 242－273 頁 [1912/2/1] 論説
- 23 アリストテレスノ哲理及ヒ国家論 法学協会雑誌 30 卷 5 号 693－732 頁 [1912/5/1] 論説
- 24 アリストテレスノ哲理及ヒ国家論（承前完） 法学協会雑誌 30 卷 6 号 949－988 頁 [1912/6/1] 論説
- 25 古神道ノ神神ノ性格及専制主義 法学協会雑誌 30 卷 10 号 1621－1658 [1912/10/1] 論説
- 26 希臘詭弁学者ノ哲理及ヒ国家論 法学協会雑誌 31 卷 5 号 727－746 頁 [1913/5/1] 論説

- 27 皇国国体ノ根柢タル古神道ニ於テ 法学協会雑誌 32 卷 10 号 1631－1686 [1914/10/1]
論説
- 28 皇国ノ根柢タル古神道ニ於テ（承前） 法学協会雑誌 32 卷 12 号 2084－2110 頁 [1914/
12/1] 論説
- 29 皇国ノ根柢タル古神道ニ就テ（承前、完） 法学協会雑誌 33 卷 2 号 326－349 頁 [1915/
2/1] 論説
- 30 御登極ノ本義 法学協会雑誌 33 卷 11 号 1871－1890 頁 [1915/11/1] 論説
- 31 天皇ノ本質 法学協会雑誌 36 卷 1 号 1－38 頁 [1918/1/1] 論説
- 32 皇国臣民ノ本質 法学協会雑誌 36 卷 2 号 211－248 頁 [1918/2/1] 論説
- 33 皇国臣民ノ本質（二） 法学協会雑誌 36 卷 3 号 367－378 頁 [1918/3/1] 論説
- 34 事物相関ノ形式及之ニ相応スル社会心理 法学協会雑誌 38 卷 1 号 1－51 頁[1920/1/1]
論説
- 35 事物相関ノ形式及之ニ相応スル社会心理（二） 法学協会雑誌 38 卷 2 号 169－200 頁
[1920/2/1] 論説
- 36 事物相関ノ形式及之ニ相応スル社会心理（三完） 法学協会雑誌 38 卷 3 号 347－373
頁 [1920/3/1] 論説
- 37 皇国ノ原働行為及非常行為 法学協会雑誌 38 卷 9 号 1077－1101 頁 [1920/9/1] 論
説

【参考】既載分残置（『法学協会雑誌総索引』（法学協会五十周年記念、法学協会、昭和 8 年 4 月 25 日刊）に拠る。現物未見。）

- ・情ヲ知リテ偽造貨幣ヲ窃取シテ之ヲ以テ物ヲ買入タル者ノ処分如何 『法学協会雑誌』第 15 卷第 2 号 92 頁（明治 30 年刊）
- ・法ノ本質ヲ論ス 『法学協会雑誌』第 22 卷第 3 号 322 頁、同第 22 卷第 4 号 533 頁、同第 22 卷第 6 号 792 頁（明治 37 年刊）
- ・団体本質論 『法学協会雑誌』第 23 卷第 4 号 463 頁、同第 23 卷第 5 号 669 頁、同第 23 卷第 7 号 932 頁、同第 23 卷第 8 号 1122 頁（明治 38 年刊）
- ・謡曲「放下僧」ヨリ法ノ基礎觀念ヲ論ズ 『法学協会雑誌』第 24 卷第 5 号 613 頁（明治 39 年刊）
- ・機関人格概論 『法学協会雑誌』第 24 卷第 6 号 740 頁、同第 24 卷第 8 号 1082 頁、同第 26 卷第 2 号 117 頁（明治 39～41 年刊）
- ・法学研究者トシテ太古ノ思潮ヲ論ス 『法学協会雑誌』第 27 卷第 12 号 1874 頁（明治 42 年刊）
- ・印度ニ於ケル仏教思潮ヲ論ス 『法学協会雑誌』第 28 卷第 1 号 44 頁、同第 28 卷第 2 号 233 頁、同第 28 卷第 4 号 615 頁、同第 28 卷第 7 号 1270 頁、同第 28 卷第 8 号 1435 頁（明治 43 年刊）
- ・プラトーン哲理及ヒ国家論 『法学協会雑誌』第 30 卷第 1 号 30 頁、同第 30 卷第 2 号 242 頁（明治 45 年刊）

- ・アリストテレスノ哲理及国家論 『法学協会雑誌』第30巻第5号693頁、同第30巻第6号949頁（明治45年）
- ・古神道ノ神神ノ性格及専制主義 『法学協会雑誌』第30巻第10号1621頁（大正元年刊）
- ・希臘詭弁学者ノ哲理及ビ国家論 『法学協会雑誌』第31巻第5号727頁（大正2年刊）
- ・皇国国体ノ根底タル古神道ニ就テ 『法学協会雑誌』第32巻第10号1631頁、同第32巻第12号2084頁、同第33巻第2号326頁（大正3～4年刊）
- ・御登極ノ本義 『法学協会雑誌』第33巻第11号1871頁（大正4年刊）
- ・天皇ノ本質 『法学協会雑誌』第36巻第1号1頁（大正7年刊）
- ・皇国臣民ノ本質 『法学協会雑誌』第36巻第2号211頁、同第36巻第3号367頁（大正7年刊）
- ・事物相関ノ形式及之ニ相応スル社会真理 『法学協会雑誌』第38巻第1号1頁、同第38巻第2号169頁、同第38巻第3号347頁（大正9年刊）
- ・皇国ノ原働行為及非常行為 『法学協会雑誌』38巻第9号1077頁（大正9年刊）

ウ その他

（作成中）

3 試験問題（令和元（2019）年6月12日新設）（調査中）

（東京帝国大学法科大学及び同法学部）

（凡 例）

・『国家学会雑誌』掲載分をベースにして作成の予定。『法学協会雑誌』にも一部掲載されていると仄聞するが調査中。

・『国家学会雑誌』第1号（明治20（1887）年3月15日刊）～第19巻第7号（通号第221号、明治38年7月1日刊）には、試験問題の掲載なし。

（参考）

・『国家学会雑誌』：最初は通号表示、明治36年1月1日刊の通号第191号より巻数（第17巻）表示を開始するが、号数は第18巻通号第214号（明治37年12月1日刊）までは通号表示、第19巻第1号（通号第215号、明治38年1月1日刊）より巻号数表示。

・『国家学会雑誌』第17巻第200号（明治36年10月20日刊）に「二百号記念」として、「国家学会沿革ノ概要」（1）～（6）頁、「国家学会雑誌自第一号至第百九十九号索引総目録」（1）～（31）頁あり。

・『東西大学 法律 政治 経済科目試験問題』（進化堂書店、明治43年9月5日刊）

（以下「A」と略称。）、『東西大学 法律 政治 経済科目試験問題』（文進社、大正5年

12月20日改訂四版刊）（以下「B」と略称。）、『東西大学 法律 政治 経済科目試験問

題』（文進社、大正6年9月30日改訂五版刊）（以下「C」と略称。）及び『高等文官、

外交官、判検事、弁護士、各官私立大学試験問題集』（三書楼（巖松堂書店の別会社か?）、

明治42年8月25日刊）（以下「D」と略称。）及び『四十二年度試験問題集』（三書楼

(巖松堂書店の別会社か?)、明治 43 年 3 月 20 日刊) (以下「E」と略称。)を適宜参照の予定。(目下調査中)

「A」〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/814340>〉

「B」〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/955547>〉

「C」〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/955548>〉

「D」〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/786382>〉

「E」〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/786391>〉

4 笥克彦博士関連文献

(戦前期)

明治 41 (1908) 年

・千朶木仙史編『学界文壇 時代之新人』(天地堂、明治 41 年 6 月 26 日刊) 119～130 頁
「東京法科大学の二名物 笥克彦氏と美濃部達吉氏」(「国立国会図書館デジタルコレクション」〈<http://dl.ndl.go.jp/>〉) に収録。

〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/777987>〉 (65～71 コマ) (本 URL のみ令和元年 6 月 24 日追加)

大正 2 (1913) 年

・南北社編輯『赤門生活』(南北社、大正 2 年 5 月 28 日刊。復刻本:『日本教育史学基本文献・史料叢書 34 赤門生活』〈大空社、平成 8 年 3 月 28 日刊。解説:中野〈1951～2002〉〉)
(笥博士:13～14、161～162 頁) (令和元年 6 月 24 日追加)

〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/936797>〉 (14～15、88～89 コマ)

大正 5 (1916) 年

・堀川鷺陽「84 笥克彦氏 (法科大学教授法学博士)」『初対面』(明文館、大正 5 年 6 月 8 日刊) 279～283 頁 (堀川氏の本名は「美治」か。明治 38 年一高文科卒。)(令和元年 6 月 12 日追加)

大正 10 (1921) 年

・「65 笥克彦」『大日本博士録 (1888-1920) 第 1 巻 (全六巻之内) 法学博士及薬学博士之部』(発展社、大正 10 年 1 月 11 日刊。英文有。) 76、77 頁 (「国立国会図書館デジタルコレクション」〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/946116>〉 142 コマに収録。)(平成 31 年 2 月 21 日 URL 追加)

大正 11 (1922) 年

・来間恭「笥博士と上杉博士」『解放』第 4 巻第 5 号 (解放社、大正 11 年 5 月? 日刊) 110～113 頁 (未見。平成 24 年 4 月 20 日追加)

〈<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/detail.reference?id=1000093486>〉

昭和 3 (1928) 年

・皇学会雑誌 神ながら (皇学会) 昭和 3 (1928) 年第 1 号～昭和 9 年 7 月号 (不揃い 55 冊発売、25,000 円、古書即売展紙魚之会、平成 24 年 3 月 2、3 日) (平成 24 年 2 月 22 日追加) ??

昭和 5 (1930) 年

- ・大塚虎雄『学界新風景』(天人社、昭和 5 年 4 月 18 日刊) 165～168 頁 (平成 28 年 2 月 5 日追加)

昭和 6 (1931) 年

- ・学位大系博士氏名録編集部編纂『学位大系博士氏名録 昭和 7 年版』(発展社出版部、昭和 6 年 10 月 25 日刊)(法学博士) 3 頁(「国立国会図書館デジタルコレクション」〈<http://dl.ndl.go.jp/>〉に収録。)(平成 24 年 2 月 14 日追加)
- ・「寛克彦博士」「2 大学教授室 (1～[32])」(『時事新報』) 1931.11.30-1932.1.7 (昭和 6)、人物伝記-5-001「神戸大学新聞記事文庫」(平成 24 年 2 月 14 日追加)
〈<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sinbun/>〉

昭和 7 (1932) 年

- ・『学位大系博士氏名録 昭和七年版』(発展社出版部、昭和 6 年 10 月 25 日刊)「法学博士」1 頁 〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1447306>〉(121 コマ)(令和元(2019)年 6 月 12 日追加)
- ・『東京帝国大学五十年史 上・下冊』(昭和 7 年 11 月 20 日刊)(令和元(2019)年 6 月 12 日追加)
〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1453584>〉
〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1453613>〉
- ・『帝国大学出身名鑑』(校友調査会、昭和 7 年 12 月 10 日刊)カ 29 頁(「国立国会図書館デジタルコレクション」〈<http://dl.ndl.go.jp/>〉に収録。)

昭和 8 (1933) 年

- ・『法学協会雑誌総索引』(法学協会五十周年記念、法学協会、昭和 8 年 4 月 25 日刊)

昭和 9 (1934) 年

- ・『寛教授還暦祝賀論文集』(有斐閣、昭和 9 年 4 月 17 日刊。編輯者: 杉村章三郎(1900～1991)。巻頭に山田準次郎氏(1883～1968)に依る「油絵の復写」あり。年譜・著作目録はなし。)

昭和 13 (1938) 年

- ・高柳賢三(1887～1967)「法科大学時代の諸先生」『独裁政と法律思想—現代欧米の法律思潮—』(河出書房、昭和 13 年 4 月 23 日刊) 319～328 頁(寛博士分: 327～328 頁。初出: 『緑会雑誌』第 9 号〈昭和 12 年 12 月刊〉)(令和 2 年 6 月 30 日追加)
- 国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉(170～171 齣)

昭和 16 (1941) 年

- ・『人事興信録 第十三版 上』(人事興信所、昭和 16 年 10 月 1 日刊)カ 57 頁
(「国立国会図書館デジタルコレクション」〈<http://dl.ndl.go.jp/>〉所収本 486 コマ)(平成 24 年 2 月 14 日追加)

昭和 17 (1942) 年

- ・下村海南(宏、1875～1957)『随筆 二直角』(櫻井書店、昭和 17 年 7 月 1 日刊)中「人力車賃六銭也」(29～32 頁)中 32 頁(「国立国会図書館デジタルコレクション」〈<http://dl.ndl.go.jp/>〉に収録。)(平成 25 年 3 月 28 日追加)

- ・『日本国家学大系』第3巻（国家学及政治学1）（実業之日本社、昭和17年9月22日刊）（広島文理科大学助教授正木慶秀氏「日本国体論」〈第1部 国家学、1～137頁〉の件）

（昭和戦後期）

昭和31（1956）年

- ・『大達茂雄』（大達茂雄伝記刊行会、昭和31年11月10日刊）47～51頁（平成24年1月10日内藤丈二先生の御教示に拠る。）

- ・『追憶の大達茂雄』（『大達茂雄』別巻。大達茂雄伝記刊行会、昭和31年11月10日刊）57～59頁、95～98、286頁（平成24年1月10日内藤丈二先生の御教示に拠る。）

昭和40（1965）年

- ・三瀧信吾（1916～2003）「寛克彦」『神道宗教』（通号）第41号（昭和40年11月刊）（未見）

昭和41（1966）年

- ・梅本克己（1912～1974）・佐藤昇（1916～1973）・丸山眞男（1914～1996）『現代日本の革新思想』（河出書房新社、昭和41年1月刊）⇒丸山眞男『丸山眞男座談』第六冊（岩波書店、平成10年6月8日刊）49～51頁、「後記」参照。

（下記HP「学問空間」参照。）

〈<http://blog.goo.ne.jp/daikanjin/e/2b9ccc97b0c98868ddb1d2c4926b03f6>〉

（平成27年2月3日追加）

- ・寛泰彦（1908～2000）「父寛克彦のことども」『学士会会報』第690号（昭和41年2月10日刊）（平成25年4月22日一部補正）

昭和47（1972）年

- ・末川博（1892～1977）『末川博随想全集 第9巻 思い出の人と私のあゆみ』（栗田出版会、昭和47年8月25日刊）（V 歩んだ道の回顧 国家試験の思い出（465～469頁）中寛博士関係：498、469頁（初出：『法律学全集』葉・昭和32年3月との由、未見。））（平成24年6月6日追加）

昭和55（1980）年

- ・『広島文理科大学創立五十周年』（広島文理科大学創立五十周年記念刊行会、昭和55年12月12日刊）88～97頁（「5 国体学教室」）

昭和61（1986）年

- ・『東京大学百年史 部局史1』（東京大学、昭和61年3月1日刊）（令和元年6月12日追加）

昭和62（1987）年

- ・寛素彦（1906～1992.4.10）『反省随想 財団法人報公会の解散に当り遺言に代えて』（財報公会、平成2年8月31日刊。平成23年12月28日中村美枝子様の御教示に拠る。）（平成24年2月14日追加）

(平成年代)

平成元（1989）年

・丸山眞男（1914～1996）・福田歓一（1923～2007）編『聞き書 南原繁回想録』（東京大学出版会、平成元年 9 月 20 日刊。南原繁：1889～1974）13～17、147、406 頁、三谷太一郎（1936～）同書「解説—南原繁百歳」500～501 頁（令和 2 年 3 月 19 日追加、同 4 月 15 日一部修正）

平成 2（1990）年

・笈素彦（1906～1992.4.10）『今上陛下と母后貞明皇后』（日本教文社、昭和 62 年 9 月 10 日刊）（平成 24 年 2 月 14 日追加、同年 3 月 23 日一部追加）

平成 6（1994）年

・山田晟（1908～2003）『立法学序説—体系論の試み—』（有斐閣、平成 6 年 12 月 10 日刊）188、189、202 頁（平成 29 年 12 月 14 日追加）

平成 7（1995）年

・頼松瑞生（1968～）「近代日本法思想に与えたる仏教の影響—笈克彦の「仏教哲理」を中心に」『法制史研究』（通号）第 44 号〈1994〉（平成 7 年 3 月 30 日刊）135～161 頁
〈<http://www.soc.nii.ac.jp/jalha/>〉

平成 9（1997）年

・森かをる「岩野泡鳴と笈克彦—『笈博士の古神道大義』を中心に」『近代文学研究』（通号）第 14 号（平成 9 年 2 月刊）（未見）

・笈素彦（1906～1992）「「神ながらのころ」について」『弘道』第 989 号（平成 9 年 5・6 月号）（『神ながらの道』附録として再掲との由。?? 平成 23 年 12 月 28 日中村美枝子様の御教示に拠る。）（平成 24 年 2 月 14 日追加）

・加藤節（1944～）『南原繁』（岩波書店〈岩波新書〉、平成 9 年 7 月 22 日刊。南原繁：1889～1974）41～43 頁（令和 2 年 3 月 19 日追加）

平成 10（1998）年

・丸山眞男（1914～1996）『丸山眞男座談』第六冊（「現代日本の革新思想」。岩波書店、平成 10 年 6 月 8 日刊）49～51 頁（初出：梅本克己（1912～1974）・佐藤昇（1916～1973）・丸山眞男『現代日本の革新思想』〈河出書房新社、昭和 41 年 1 月刊〉。転載につき上記『丸山眞男座談』第六冊「後記」参照。）

（下記 HP「学問空間」参照。）

（平成 27 年 2 月 3 日追加）

〈<http://blog.goo.ne.jp/daikanjin/e/2b9ccc97b0c98868ddb1d2c4926b03f6>〉

・大石眞（1951～）・高見勝利（1945～）・長尾龍一（1938～）編『対談集 憲法史の面白さ 日本憲法史叢書 2』（信山社出版、平成 10 年 7 月 30 日刊）38～41 頁（清末政治史における笈博士の影響振りに言及あり〈大石氏、山室信一氏〈1951～〉〉。要注目。）（平成 27 年 3 月 13 日追加）

平成 12（2000）年

・三瀧信吾（1916～2003）「古神道・神社神道と「信教の自由」—笈克彦博士の「皇學」提唱の意義」『神道宗教』（通号）第 177 号（平成 12 年 1 月刊）（未見）

平成 12（2000）年

・竹田稔和「笥克彦の国家論—構造と特質—」『岡山大学大学院文化科学研究科紀要』第10号（平成12年11月刊）300（39）～342（27）頁

〈<http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/journal/988>〉

平成13（2001）年

・竹田稔和「ドグマティズム」と「私見なし」—笥克彦の古神道について—『岡山大学大学院文化科学研究科紀要』第11号（平成13年3月刊）200～186（27～41）頁

〈<http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/metadata/1093>〉

・竹田稔和 学位論文内容の要旨「大正・昭和前期における神道思想—笥克彦の古神道を事例として—」（岡山大学大学院文化科学研究科人間社会文化学専攻、学術博士、平成13年3月25日授与、博甲第2177号）

〈<http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/Detail.e?id=695220070223000000>〉

平成15（2003）年

・立花隆（1940～2021）「私の東大論（43）笥克彦と「神ながらの道」—蓑田胸喜が影響を受けた二人の東大教授」『文藝春秋』第81巻第2号（平成15年2月刊）（未見）⇒立花隆『天皇と東大 第日本帝国の生と死 下』（文藝春秋、平成17年12月10日刊）73～93頁に再録。（平成24年5月1日一部修正）

（下記HP「学問空間」参照。平成27年1月31日追加）

〈<http://blog.goo.ne.jp/daikanjin/e/2b9ccc97b0c98868ddb1d2c4926b03f6>〉

平成18（2006）年

・呉豪人「第四章 植民地の法学者たち—「近代」パライソの落とし子」『岩波講座「帝国」日本の学知』第1巻（「帝国」編成の系譜）（岩波書店、平成18年2月24日刊）123～169頁（笥克彦及び増田福太郎論がある。）、付録 文献解題13～14頁（平成25年4月19日追加）

平成19（2007）年

・六本佳平（1939～）・吉田勇（1945～）編『末弘厳太郎と日本の法社会学』（東京大学出版会、平成19年3月30日刊）10～11頁（平成31年2月21日追加）

平成21（2009）年

・HP「路傍の意地 わが祖父の文章をここに遺す」（平成21年1月3日。元広島高師教授、元広島文理科大学助教授西川平吉氏の件）

〈<http://app.f.m-cocolog.jp/t/typecast/544607/529302/49127688>〉

・石川健治（1962～）「権力とグラフィクス」長谷部恭男（1956～）・中島徹（1955～）編『憲法の理論を求めて—奥平憲法学の継承と展開—』（日本評論社、平成21年5月19日刊。奥平康弘（1929～2015）、奥平康弘氏傘寿記念論文集）251～309頁（平成25年4月15日追加、同年4月25日一部補正）

平成22（2010）年

・小田部雄次（1952～）『昭憲皇太后、貞明皇后—一筋に誠をもちて仕へなば—』（ミネルヴァ書房、2010年11月10日刊）276～281、326、328頁（平成28年11月17日追加）

平成24（2012）年

・中道豪一（1978～）「笥克彦の神道教育：その基礎的研究と再評価への試み」『明治聖徳

記念学会紀要』復刊第 49 号（平成 24 年 11 月刊、特集 明治天皇とその時代 明治天皇崩御百年 明治天皇御生誕百六十年）228～247 頁（未見。）（平成 25 年 4 月 15 日追加）

平成 25（2013）年

・大谷伸治「昭和戦前期の国体論とデモクラシー—矢部貞治・里見岸雄・大串兎代夫の比較から—」『日本歴史』第 777 号（平成 25 年 2 月号、同年 2 月 1 日刊。矢部貞治:1902～1967、里見岸雄: 1897～1974、大串兎代夫: 1903～1967）73～89 頁（寛博士関連: 77～78、87 頁）（平成 25 年 4 月 15 日追加）

・西田彰一「帝国日本における寛克彦の神道思想とその影響について」（第八部会、研究報告、第七十一回学術大会）『宗教研究』第 86 巻第 4 号（日本宗教学会、平成 25 年 3 月 30 日刊）1046～1047 頁（平成 28 年 10 月 9 日追加）

〈<http://altmetrics.ceek.jp/article/creator/%E8%A5%BF%E7%94%B0%20%E5%BD%B0%E4%B8%80>〉

平成 26（2014）年

・酒井哲哉（1958～）・松田利彦（1964～）編『帝国日本と植民地大学』（ゆまに書房、平成 26 年 2 月 25 日刊）（平成 26 年 5 月 27 日追加）

・丸山眞男（1914～1996）『丸山眞男話文集 続 1』（みすず書房、平成 26 年 3 月 22 日刊行）188、251～263、285 頁（平成 26 年 5 月 27 日追加）

平成 27（2015）年

・原武史（1962～）『皇后考』（講談社、平成 27 年 2 月 4 日刊）216、217、221、222、241～243、310、311、382、386～391、394、404、453、474、475、529、534 頁（寛素彦〈1906～1992〉: 242、391、392、534、544 頁、小中村清矩〈1822～1895〉: 106、107、110 頁）（平成 27 年 4 月 21 日追加、同年 7 月 15 日一部補正）

〈<http://bookclub.kodansha.co.jp/product?isbn=9784062193948>〉

〈<http://gunzo.kodansha.co.jp/39016/39848.html>〉

〈<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%B2%9E%E6%98%8E%E7%9A%87%E5%90%8E>〉

〈<http://webronza.asahi.com/culture/articles/2015032600004.html>〉

平成 28（2016）年（平成 28 年 10 月 9 日追加）

・西田彰一（1986～）「植民地における寛克彦の活動について—満州を中心に—」『総研大文化科学研究』第 12 号（平成 28 年 3 月刊）37～53 頁

〈http://www.bunka.soken.ac.jp/journal_bunka/〉

〈http://www.bunka.soken.ac.jp/journal_bunka/160303_nishida/nishida.pdf#search=%27%E7%AD%A7+%E5%85%8B%E5%BD%A6%27〉

【書評】坂井大輔『法制史研究』第 67 号（平成 30 年 3 月 30 日刊）398～401 頁

⇒西田彰一「(上記書評に対するもの)」『法制史研究』第 68 号（平成 31 年 3 月 30 日刊）371～373 頁（令和元年 6 月 12 日追加）

・西田彰一「寛克彦の皇族論について」『立命館大学人文科学研究所紀要』No.107（平成 28 年 3 月刊）1～23 頁

〈http://www.ritsumei.ac.jp/acd/re/k-rsc/hss/book/pdf/no107_01.pdf#search=%27%E7%AD%A7+%E5%85%8B%E5%BD%A6%27〉

・西田彰一「寛克彦「やまとばたらき（皇国運動／日本体操）の分析—明るき国家の肯定と身体技法—」『日本思想史研究会会報』第 32 号（日本思想史研究会、平成 28 年 3 月刊）29～46 頁

・中房敏明「草創期における「日本体操」の成立とその展開について」『大阪体育大学紀要』第 47 号（平成 28 年 3 月刊）13～41 頁（未見）（平成 30 年 7 月 12 日追加）

〈https://www.ouhs.jp/uploads/2018/05/142_nakafusa_toshiro.pdf〉

・森元拓「第 11 章 国粹主義の法思想」大野達司・森元拓・吉永圭『近代法思想史入門』（法律文化社、平成 28 年 5 月 10 日刊）185～203 頁中「第 3 節 寛克彦の法思想：「神ながら」の国の法思想」（189～194 頁）（平成 30 年 5 月 11 日追加）

・西田彰一「一九〇〇年代における寛克彦の思想」『日本研究』第 53 集（人間文化研究機構国際日本文化研究センター、平成 28 年 6 月刊）253～266 頁

〈<https://ci.nii.ac.jp/naid/120005765489>〉

【書評】坂井大輔『法制史研究』第 67 号（平成 30 年 3 月 30 日刊）398～401 頁

⇒西田彰一「（上記書評に対するもの）」『法制史研究』第 68 号（平成 31 年 3 月 30 日刊）371～373 頁（令和元年 6 月 12 日追加）

・中房敏明「1920 年代から 1930 年代における「^{やまとばたらき}日本体操」の展開過程について 国民高等学校の創始から満州開拓移民の展開に至る過程に着目して（資料）」『体育学研究』第 61 号（平成 28 年 6 月刊）319～338 頁（平成 30 年 7 月 12 日追加）

〈https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjpehss/61/1/61_15092/_pdf〉

平成 29（2017）年（平成 30 年 7 月 12 日追加）

・中房敏明「宮中で流行した『神代のままの運動法』：日本体操に親しんだ皇后と側近たち（研究ノート）」『スポーツロジィ』第 4 号（平成 29 年 3 月刊）240～272 頁（未見）（平成 30 年 7 月 12 日追加）

〈https://www.ouhs.jp/uploads/2018/05/142_nakafusa_toshiro.pdf〉

・西田彰一氏への学位（博士〈学術〉）授与（平成 29 年 9 月 28 日、総研大甲第 1954 号、「国体論者としての寛克彦—その思想と活動」）(Adobe PDF)（平成 30 年 7 月 12 日追加）
平成 30（2018）年

・五味良彬「上杉慎吉の「国体」論に関する一考察—『新稿帝国憲法』の分析を中心に—」『法学志林』第 115 巻第 1・2 号（第 738 号、平成 30 年 3 月 13 日刊）111～136 頁（特に 123 頁注 33～36）（平成 30 年 5 月 11 日追加）

・「台湾宗教史研究の先駆者—増田福太郎博士関係資料一斑」柴田幹夫編『台湾の日本仏教 布教・交流・近代化』（アジア遊学 222、勉誠出版、平成 30 年 8 月 17 日刊）170～175 頁（増田福太郎：1903～1982）（平成 31 年 2 月 21 日一部修正）

〈http://bensei.jp/index.php?main_page=product_book_info&cPath=2&products_id=100908〉

〈http://e-bookguide.jp/item_peace/bs5852268819/〉

・今野元（1973～）『吉野作造と上杉慎吉—日独戦争から大正デモクラシーへ』（名古屋大学出版会、平成 30 年 11 月 15 日刊）102 頁（吉野作造：1878～1933、上杉慎吉：1878～

1929) 29,31,52,81～83,92,109,111,112,114,138,190,205,292,320,
330,336,342,346,347,352,358,366,382,398,400,402 頁 (平成 31 年 2 月 21 日追加)

(令和年代)

令和元 (2019) 年

・嘉戸一将 (1970～)『主権論史』(岩波書店、令和元年 8 月 28 日刊) 308,309,311,313,318,
333,425,494,495,496 頁 (令和 2 年 6 月 30 日追加)

・石川健治 (1962～)「憲法集中セミナー「神ながらの道」と憲法学―寛克彦を読む」(朝
日カルチャーセンター 朝日 JTB・交流文化塾、湘南教室、令和元年 6 月 15 日)(令和 2
年 3 月 19 日追加)

〈<https://www.asahiculture.jp/course/shonan/47a822c7-7f43-9b32-78d0-5c50058204e0>
〉

令和 2 (2020) 年

・西田彰一 (1986～)『躍動する「国体」 寛克彦の思想と活動』(日文研叢書 58、ミネ
ルヴァ書房、令和 2 年 2 月 20 日刊)(令和 2 年 3 月 19 日追加)

〔目次：戦前における国体論の展開と寛克彦/ 第 1 部 国体思想にいたる道(心理、生命、
そして宗教/ 「古神道」の形成と天皇機関説論争)/ 第 2 部 国民教化の試み(『神ながら
の道』頒布と皇学会/ 神社行政へのはたらきかけ)/ 第 3 部 国体思想の実践と展開 (“や
まとばたらき”の実践と普及/ 「誓の御柱」の建設とその広がり/ 植民地における取り組
み)/ 寛克彦の思想の帰結と独自の国体論〕

〈<https://www.minervashobo.co.jp/book/b498289.html>〉

〈<https://iss.ndl.go.jp/books/R1000000002-I030267796-00>〉

〈<https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784623088386>〉

*その他

・寛克彦博士についてはネット上に多数の関係記事が存在するが、それらについては本稿
では省略。

・増田福太郎氏 (1903～1982) 関係文献については現在調査中 (平成 29 年 12 月 4 日追
加) ⇒「平成 30 (2018) 年」項目に記載 (平成 30 年 7 月 12 日追加)

・寛克彦 (1872～1961) : (平成 25 年 4 月 25 日追加)

〈<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%AD%A7%E5%85%8B%E5%BD%A6>〉

・寛素彦 (1906～1992) : (平成 27 年 7 月 15 日追加)

〈https://www.ssfk.or.jp/p/introduction/kakehi_motohiko.htm〉

・寛泰彦 (1908～2000) : (平成 24 年 6 月 6 日追加)

〈<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%AD%A7%E6%B3%B0%E5%BD%A6>〉

(了)